

## はじめに

この記録は、令和3年に本県で発生した災害の被害状況及び気象状況等を収録したものです。

令和3年は、豪雨による風水害が全国各地で発生し、7月3日には東海地方から関東地方を中心に記録的な大雨となり、静岡県熱海市で、災害関連死1名を含む28名の方が亡くられる大規模な土石流災害が発生しました。

本県においても、5月から10月にかけて大雨や台風による風水害が相次いで発生し、7月10日には、活発な梅雨前線の影響で南部山沿いを中心に記録的な大雨となり、えびの市に県内初となる「大雨特別警報」が発表され、制度改正後初の「緊急安全確保」が発令されました。

また、9月16日には台風第14号の接近に伴い大気の状態が不安定となり、南部平野部で局地的に非常に激しい雨が降り、宮崎市内の木花地区、青島地区に「緊急安全確保」が発令され、内海地区では国道220号やJR日南線を塞ぐ大規模な土砂崩れが発生し、県民生活に大きな影響を及ぼすなど、令和3年中に本県で発生した災害による被害総額は約62億円にのぼりました。

令和2年に続き、新型コロナウイルス感染症の影響により、県総合防災訓練の実働訓練の中止や各種防災キャンペーン等の制限を余儀なくされる中、県では、災害から県民の生命や財産を守るため、防災士の養成、改正災害対策基本法の施行に伴う新しい避難情報に関する広報、防災情報共有システムを活用した図上訓練の実施等、地域防災力や職員の防災対応能力の向上に努めたところですが、今後も、県地域防災計画等に基づき、安全で安心して暮らせる社会を目指してまいりますので、県民や各防災関係機関の皆様の御協力を賜りますようお願いいたします。

最後に、この記録の作成に御協力をいただきました宮崎地方気象台をはじめ、関係機関の皆様に厚く御礼申し上げますとともに、本記録が防災対応の一助となりますことを祈念申し上げ、発行に当たっての挨拶といたします。

令和5年3月

宮崎県危機管理統括監 横山 直樹

目 次

**第1章 気象概況**

1 令和3年度 季節別概況と気候値	3
2 令和3年 気象概況	5
3 令和3年 年間気象観測値の要素別比較表	15
4 令和3年 特別警報・警報・注意報発表履歴表	17

**第2章 災害概況**

1 人的・住家等の被害状況	105
2 区分別・個別災害別被害額等	108
3 区分別被害内訳	113
4 市町村別・区分別被害額	118
5 激甚災害の指定状況	120

**第3章 個別災害**

1 令和3年1月12日にかけての地すべり	123
2 令和3年2月14日の大雨	129
3 令和3年5月12日の梅雨前線による大雨	139
4 令和3年5月17日の梅雨前線による大雨	149
5 令和3年5月20日から5月21日にかけての梅雨前線による大雨	161
6 令和3年5月27日の梅雨前線による大雨	171
7 令和3年6月4日の梅雨前線による大雨	181
8 令和3年6月12日の梅雨前線による大雨	191
9 令和3年6月13日の梅雨前線による大雨	199
10 令和3年6月23日の大雨	209
11 令和3年7月3日の大雨	213
12 令和3年7月10日の梅雨前線による大雨	219
13 令和3年7月12日の落雷(大雨)	237
14 令和3年7月13日の大雨	247
15 令和3年7月14日のヒョウ(大雨)	257
16 令和3年7月14日の落雷(大雨)	269
17 令和3年7月16日から7月17日にかけての大雨	275
18 令和3年7月18日の前線による大雨	287

19	令和3年7月19日の大雨	297
20	令和3年8月8日から8月9日にかけての台風第9号	307
21	令和3年8月12日から8月20日にかけての前線による大雨	325
22	令和3年9月5日の大雨	341
23	令和3年9月13日から9月16日にかけての前線による大雨	347
24	令和3年10月6日の大隅半島東方沖を震源とする地震	365
25	令和3年10月12日の前線による大雨	369
26	令和3年の津波注意報及び警報の発表状況	377
27	令和3年霧島山（新燃岳、御鉢、えびの高原（硫黄山）周辺）の活動状況	379
28	令和3年桜島（南岳山頂火口、昭和火口）の活動状況	387

#### 第4章 自衛隊の災害派遣状況

令和3年	自衛隊の災害派遣状況	393
------	------------	-----

#### 第5章 資料

1	過去20年間（平成14年～令和3年）の年次別・原因別被害額	397
2	過去5年間（平成28年～令和2年）の被害状況	398

## 凡 例

- 1 本記録は、気象概況・災害概況・個別災害・自衛隊の災害派遣状況・資料の、合わせて5つの章で構成されている。
- 2 本文中の被害額の単位は、千円である。
- 3 災害による被害の報告に関する定義については、「災害報告取扱要領」（昭和45年4月10日消防防第246号消防庁長官通達）を参照した。
- 4 第2章において、「人的・住家等の被害状況」や「区分別・個別災害別被害額等」については、総務省消防庁へ提出した「令和3年 災害年報」（第3号様式）を一部参照した。
- 5 市町村ごとに区分不能な被害額（通信施設・鉄道施設・衛生関係施設）については、「(県内一円)」で計上した。
- 6 「営農施設」については、「農林水産業被害報告とりまとめ要領」（昭和48年5月21日付48総第382号農林事務次官依命通達）を参考に取りまとめを行った。

以 上